

苦工同窓会

発行 本部 総一
 会中 幸丘6-22
 同窓会 田倉高
 事務 長柏市
 小 牧
 苦工 幹小
 TEL 0144-37-3088

令和3年度

定期総会 懇親会 中止

コロナ禍 感染拡大

令和3年度定期総会・懇親会は5月29日(土)に開催を予定しておりましたが、新型コロナウイルスの変異株による第4波がまん延し3度目の緊急事態宣言が発出された為、会員の皆様の健康と安全を考慮し、4月30日に本部理事役員会の同意を頂き昨年に続き誠に残念ではありますが中止とさせて頂きました。

なお 総会では報告事項

としての令和2年度一般会計・基金会計、また、協議事項として令和3年度の事業計画・会計予算を始め百周年事業に伴う役員(協賛会常任理事)増員について重要な議題があります。役員増員については若本選考委員長とする選考委員会を立ち上げ、選考結果を理事会に諮り協賛会役員増員を選出いたします。今年度も特例として報告

事項・協議事項・役員増員について理事役員に「書面決議理事会審議議案書」を同意して頂きました。
 本総会に諮り承認が必要

百周年記念 協賛会計画

昨年の10月第1回準備委員会があり、90周年事業の取り組み事項の確認・全体組織・会則・記念事業・今後の協議スケジュールなどについて意見交換を行った。第2回の準備委員会は、この春に開催予定されておりましたが、昨年10月より生徒複数のコロナ感染が確認され、学校側がその対応に追われたこともあり、若干遅れ気味ではありますが同窓会では協賛会への役員増員対応を含め進めており

同窓会 入会式

定時制課程は初めて

卒業式の前日は2年ぶりととなった同窓会入会式が田中会長を初め6名の役員が出席しました。なお、学校からの要請で今年度からは定時制課程も単独で実施されました。

会長からは卒業生に祝福と激励の言葉が贈られ、また、卒業式当日胸に付けるコーサージュと目録を生徒代表に渡され、各々感謝とお礼の挨拶がありました。

卒業証書授与式

10・20年後に期待

令和2年度の卒業証書授与式が3月1日(月)に行われ、248名(全日制227名・土木39、建築38、電子機械37、環境化学38、情報技術38、定時制21名、機械18、建築3)が、晴れやかな表情で卒業証書を受け取っていた。

昨年は新型コロナウイルス感染拡大のため、保護者、来賓の出席もなく短時間で開催でしたが、今年度は

保護者が出席出来るようにと、全日制を午前・午後、定時制の3回に分けた分散開催となり、卒業生は同窓会から贈られたコーサージュを胸に付け入場し、校長より一人ひとり卒業証書を受け取り、また、優秀賞・皆勤賞の表彰も行われ、最後に宮岡校長からの進学・社会人への期待の言葉として、在学3年間で身に付けた挨拶・礼儀作法が人生において



大きく変わります。10年・20年後全国の各地で活躍することを願っていますと話されていた。

入学式挙行

保護者は控室でライブ配信映像で

4月8日、今年度もコロナウイルス感染拡大防止のため、体育館では新入生と教職員のみで行われ、保護者は控室でのライブ配信映像により、我が子の晴れ姿を見届けていた。

宮岡校長からは、入学許可宣言があり生徒一人ひとりの名前を読み上げ、全日制227名の入学が許可され、午後からの定時制の式

では従来の機械科・建築科から、今年度より新たに工業技術科に統合され、第一期生18名の入学が許可された。

校長からの訓話では、新しい景色の中で高校生としての自覚を持って3年間(定時制4年間)学び・楽しい生活をして頂きたいと話されていた。

最後に全日制・定時制の

定時制課程 工業技術科 を開設

既存学科を統一し、現在、機械科・建築科の1間口2学科で地域に根ざした教育活動を行ってきましたが、道の公立高校配置計画において、既存の学科を統一し、今年度より工業技術科(定員40名)が開設され、一期生18名が入学されています。

工業技術科の多様化・社会構造の変化に対応出来るものづくり産業を支える技術者を育成する役割と捉えています。

90周年記念式典・祝賀会

中止しましたが、そのようなかで、昨年度(令和2年度)より会員の皆様に母校百周年記念行事へのご寄付をお願いしたところ、多くの皆様から快くご協力をいただけており、厚く感謝の思いで一杯です。

一枚一枚の振込用紙から皆様の母校への熱い想いを共有することができ力強く思っています。

お預かりしましたご寄付の使途につきましては、学校・同窓会本部のご意向に沿って、会員の皆様の苦工愛が後世に残るような百周年の記念事業に相応しいものになればと思っております。

私は平成25年の苦工創立

令和3年度 北海道苦工小工業高等学校 入学式



約半分が同窓会活動を通じて母校と共に歩んで参りましたが、こうして同窓会役員の一員として大正・昭和・平成・令和とそれぞれの時代で工業教育の役割を一世にわたって果たし続け、大きな節目となる、記念すべき創立百周年記念行事に携わることが出来ることを光榮に思うとともに大変嬉しく思っています。

同窓会活動として、千葉支部を経て現在の関東六華

母校百周年 記念式典と祝賀会への想い

本部副会長 関東六華会長 石堂 鉄雄



苦工同窓生の皆様にはコロナウイルス禍にあっても益々ご健勝のこととお慶び申し上げます。皆様にはこのような状況下においても変わらぬご支援ご協力を賜り心より感謝申し上げます。